# 令和４年度　学校関係者評価委員会　結果

１．学校関係者評価委員会規程　（別紙）
２．学校関係者評価委員　（別紙）
３．学校関係者評価委員会開催日時・場所
　令和５年３月28日（月）16：00～　看護学校　学校長室
４．学校関係者評価結果と今後の課題
　１）準備資料　（１）令和４年度看護学校運営目標に対する実施及び評価
　　（２）学生によるカリキュラム評価（卒業生、２年生、１年生）
　　（３）授業科目別平均点一覧
　　（４）学生による科目評価一覧
　　（５）自己点検・自己評価結果
　　（６）教育理念・教育目標（旧カリキュラム・新カリキュラム）
　２）審査結果（文書による回答を以下に示す。）
　　令和４年度看護学校運営目標ごとに評価委員による審査結果を一部抜粋して掲載する。
（１）「学校運営方針についての情報共有と検討」について
・学生募集の停止が決定したことは、大変残念である。質のよい教育がなされて、優秀な看護師を輩出されてきたことは、地域の人々はよく知っていると思う。
　ゴールを見据えながらも、入学希望者の獲得に向けて努力をしておられる。
・最終年度の学生が全員卒業できるよう、臨床も協力し、支援していく。
・ＩＴ化が進み、感染拡大時もスムーズに学習支援が行えたことは、効果的であった。
（２）「学生の学習環境づくりと学習への支援」について
・看護師国家試験合格は必須のミッションである。そのために学年に応じた取り組みがなされている。また学生のモチベーションを支え、効果的に指導するためにもチューター制を取り入れたことは良かったと思う。学生のカリキュラム評価も概ね良いと思う。
・就職支援体制も、業者模試の活用や面接試験練習など実施され、整えている。
・昨今メンタル面での問題を抱える学生が増加していることから、スクールカウンセリングの体制は重要となる。プライバシーが保たれる配慮や対象を卒業生に拡大されたことは非常に評価できる。
（３）「教育の質を維持するため教職員の教育・研修の推進」について
・オンラインをうまく活用されながら、活発に研修会に参加されている。研究発表もされており、良いと思う。来年度以降も継続してほしい。
・学会・研修会に積極的に参加され、研鑽を育まれている。
（４）「主体的で活力のある職場づくり」について
・教員の役割分担は必要なことであり、うまく機能すれば効果的である。しかし個人の力量や状況によって機能できない部分もあるかと思う。役割遂行状況の格差を適切に把握し、原因を探り、対策を講じることも必要かと思う。
・今後の運営方針の決定に対して、モチベーションを保ちながら、相互協力で乗りきっていただきたい。